

### 3. 2020年度事業報告詳細

#### (1) 大工道具及び建築関連資料の収集及び保管

##### ① 大工道具など実物資料の収集

##### a) 実物資料の収集

本年度は下記資料を収集した。

##### ア) 受贈等（本年度分）

| 資料名         | 点数  | 寄贈者             |
|-------------|-----|-----------------|
| 正福寺本堂組物原寸模型 | 1   | 建築と社会の年代記展実行委員会 |
| 建具道具一式      | 130 | 山田紀代治           |
| カタログ        | 1   | 涌井商店            |
| 和綴本         | 3   | 高橋良和            |
| 玉鋼          | 2   | 岩崎重義、水落良市       |
| 左官鏝、刻印      | 40  | 崎山元治            |
| 墨壺          | 1   | 山本幸平            |
| 鑿、鉞、鉋       | 8   | 長津勝一            |
| 砥石原石        | 2   | 人見英夫            |
| チョークライン     | 1   | 西山マルセーロ         |
| フィンランド大工道具  | 41  | Nikari Oy ほか    |
| 計           | 230 |                 |

##### イ) 受贈等（昨年度以前収集分）

※現在進めている資産と収集資料の見直し作業に伴い過去収集資料を資料登録した

| 資料名        | 点数 | 寄贈者            |
|------------|----|----------------|
| 古材、古瓦      | 16 | 専修寺            |
| 古材         | 11 | 竜禅寺            |
| 法隆寺古材      | 1  | 不明             |
| 桧皮葺模型      | 1  | 全国社寺等屋根工事技術保存会 |
| 石斧、鉄斧（復元品） | 1  | 磯部保衛           |
| 鉄斧         | 5  | 白鷹幸伯           |
| 石灰岩        | 3  | 吉澤石灰工業         |
| 計          | 38 |                |

##### ウ) 購入（本年度分）

| 資料名     | 点数 | 購入先  |
|---------|----|------|
| 宮野鉄之助作鋸 | 3  | 北村智則 |
| 計       | 3  |      |

##### エ) 購入（昨年度以前収集分）

※現在進めている資産と収集資料の見直し作業に伴い過去収集資料を資料登録した

| 資料名                           | 点数  | 購入先           |
|-------------------------------|-----|---------------|
| 唐招提寺金堂組物原寸大模型および型板、規矩術模型、裏股模型 | 30  | 鶴工舎           |
| 畳                             | 1   | 嵯峨藤本畳店        |
| 茶室葺庵実物大模型、障子、捻組模型             | 3   | 安井杵工務店        |
| 茶室葺庵実物大模型屋根追加*                | (1) | 耕木杜           |
| 新館展示用土壁工程模型                   | 1   | 佐藤ひろゆき        |
| 新館展示用ドイツ模型                    | 1   | クリストフ・ヘンリッヒセン |

|          |    |             |
|----------|----|-------------|
| 組子細工     | 1  | 栄建具工芸       |
| 法隆寺五重塔模型 | 1  | 鶴工舎         |
| 建築模型     | 8  | 近藤豊         |
| 古材       | 18 | 近藤豊         |
| 石斧（復元品）  | 1  | 磯部保衛        |
| ドイツ大工服装  | 1  | Axel Weller |
| 瓦（復元品）   | 11 | 山本瓦工業株式会社   |
| 継手模型     | 9  | 耕木社         |
| 計        | 86 |             |

※ 既存の資料に対する追加のため、登録点数として算入しない。

## ② 視聴覚資料の収集と保管

### a) 「木組みの家 長編版」

開館 35 周年記念展での上映用に製作した「木組みの家」（約 30 分）について、多くの撮影を行ったため、記録用に長編版（約 60 分）を作成した。

### b) 「大工熊さんの物語アニメーション」

企画展「江戸の大工さん」での展示説明用に 1993 年に製作した小咄（音声資料）にアニメーションを追加した映像作品を製作した（約 18 分）。キャラクターデザインならびにアニメーション制作は神戸芸術工科大学に委託した。

### c) 「鋸の名工 宮野鉄之助を語る」

企画展「宮野鉄之助 玉鋼を鍛えた鋸鍛冶」で上映するために上田謙太郎氏に委託して映像作品を制作した（約 26 分）。

### d) ビデオライブラリーの英語字幕化

既存映像資料の内、本年は全国巡回中の木組展で公開している「木組の家」、「組子細工の技を継ぐ」（いずれも 2019 年製作）について英語字幕を本編に付加した。また資産と収集資料の見直し作業に伴い過去に収集した未登録資料を登録した

#### ア) 本年度分

| 映像資料名           | 点 数 | 制作依頼先    |
|-----------------|-----|----------|
| 木組みの家（長編版）      | 1   | 上田謙太郎    |
| 大工熊さんの物語アニメーション | 1   | 神戸芸術工科大学 |
| 鋸の名工 宮野鉄之助を語る   | 2   | 上田謙太郎    |
| 計               | 4   |          |

#### イ) 昨年度以前収集分

| 映像資料名         | 点 数 | 制作依頼先    |
|---------------|-----|----------|
| 数寄屋展関連映像      | 5   | 麦プロダクション |
| 継手仕口 CG       | 31  | ZIP IN   |
| 常設展歴史コーナー関連映像 | 2   | 麦プロダクション |
| 暮く展関連映像       | 4   | 麦プロダクション |
| 計             | 42  |          |

2020/1～2020/12 収集件数計 403点

## ③ 分類整理・保管

### a) 収蔵庫の整備

収蔵庫維持管理のための定常業務として、害虫燻蒸、温湿度管理、資料の清拭、配架の修正等を実施した。来年 4 月竣工予定の収蔵庫別館の活用準備として、収蔵庫本館と別館全体で

の新規配架計画を立案し、資料や備品の整理、移動準備、不要品の処分をおこなった。また各階の別館との通路部分の工事準備として収蔵棚の移設と配架、劣化した収蔵ボックスの更新、資料の移動のための大型資料の保管用箱の購入を行った。

b) 資料データベースの整備

資料の保全ならびに管理作業の効率化を目的に、大工道具・図書・文献・映像・論文等の資料のデジタル化・データベース化を継続的に推進している。本年度は通常通りの新規収集資料の登録、写真撮影、画像補正・挿入等の作業を実施したほか、今後のデータベース検索の効率化を目的とした入力情報の項目整理をおこなった。

## (2) 大工道具及び建築関連資料等の展示及び公開

### ① 常設展示

a) 常設展示の保守管理

常設展示における展示品ならびに器具破損対応、消耗品補充等を適宜実施したほか、道具の油拭きならびに借用品（桃山天満宮道具）の賃借契約更新を実施した。

b) 関連印刷物の発行

来館者用のリーフレット、企画展、ワークショップ等のイベントチラシ、企画展図録の印刷発行と増版を含む適正在庫量を確保した。

### ② 企画展の準備と実施

a) 開館 35 周年記念巡回展「木組 分解してみました」

開館 35 周年の特別企画として、様々な「木組」の魅力を紹介する大型巡回展を開催した（2019 年からの継続事業）。本年度は下記の 3 会場にて開催した（1 会場は延期）。各会場では展覧会に加えて、講演会やワークショップなど関連イベントを実施した。

ア) 名古屋会場

会 場：トヨタ産業技術記念館

会 期：1 月 11 日～4 月 5 日

（2 月 29 日～4 月 5 日は新型コロナウイルス感染症対策のため臨時休館となった）

入場者：7,158 人

（関連イベント）

大工による実演「継手製作と鉋削り」

日 時：1 月 26 日（日）13:15～14:45

会 場：トヨタ産業技術記念館ホール A

講 師：三矢昌行（三矢建築代表）

参加者：87 名

講演会「錦帯橋にみる木組の可能性」

日 時：2 月 9 日（日）13:15～14:45

会 場：トヨタ産業技術記念館ホール A

講 師：海老崎彗次（錦帯橋棟梁）

参加者：104 名

ワークショップ「組子コースターづくり」

3/20、3/21 に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止した。

イ) 東京会場

国立科学博物館を会場に、5 月 26 日～7 月 12 日の開催で準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、2021 年 10 月 13 日～11 月 24 日に延期した。

ウ) 広島会場  
会 場：CLiP Hiroshima  
会 期：7月18日～9月6日  
入場者：1,783人

(関連イベント)  
講演会「錦帯橋にみる木組の可能性」  
日 時：8月16日(日) 13:30～15:00  
会 場：CLiP Hiroshima エントランス大画面前  
講 師：海老崎隼次(錦帯橋棟梁)  
参加者：30名

大工による実演「継手製作と鉋削り」  
日 時：8月23日(日) 10:30～11:30、13:30～14:30  
会 場：CLiP Hiroshima エントランス大画面前  
講 師：泉川泰記(削ろう会広島支部長)  
参加者：60名

エ) 札幌会場  
会 場：JRタワープラニスホール  
会 期：9月15日～10月25日  
入場者：3,765人

(関連イベント)  
大工ネットワーク北海道共同講演会「技を伝え、人を育てる」  
日 時：10月18日(日) 14:00～16:00  
会 場：JRタワーオフィスプラザさっぽろ 10階会議室  
講 師：小川三夫(堂宮大工棟梁)・赤尾建藏(当館エグゼクティブアドバイザー)  
参加者：70名

- b) 企画展「大工さん 近世の職人文化とその伝統」  
神戸市立博物館特別展「建築と社会の年代記―竹中工務店 400年の歩み―」連動企画として同時期に開催した。神戸芸術工科大学に委託したアニメーションやイラストを展示したほか、大阪くらしの今昔館と協力して、長屋の再現展示を実施した。  
会 場：当館多目的ホール  
会 期：1月11日～3月1日  
入場者：7,957人

(関連イベント)  
「技と心」セミナー[97]「大工の暮らしと仕事」  
日 時：2月24日(月・祝) 13:30～15:00  
会 場：神戸芸術センター会議室  
講 師：谷 直樹(大阪くらしの今昔館館長)  
参加者：72名

- c) 企画展「アイノとアルヴァ 建築・デザイン・生活革命 木材曲げ加工の技術革新と家具デザイン」  
竹中育英会主催、アルヴァ・アールト・ミュージアム、ギャラリーエークワッドの共同企画で開催する展覧会の一部を当館との共同企画で開催した。コロナウイルス感染症対策のため3月7日から5月27日まで休館したため会期を延長して開催した。また、イベントはすべて中止とした。

会 場：当館多目的ホール  
会 期：3月28日～8月30日  
入場者：5,439人

d) 企画展「神戸芸術工科大学作品展」

地域連携企画として神戸芸術工科大学の学生作品展を9月に開催すべく予定していたが、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、大学と協議の上、中止とした。

e) 企画展「宮野鉄之助 玉鋼を鍛えた鋸鍛冶」

鋸鍛冶の二代目宮野鉄之助の作品を中心に、鋸の名品や鉄之助の使った鍛冶道具を展示した。

会 場：当館多目的ホール  
会 期：10月10日～12月13日  
入場者：3,671人

(関連イベント)

「技と心」セミナー[99]「三木の鋸鍛冶が語る 鋸の歴史から使い方まで」

日 時：11月22日(日) 13:30～15:00 (13:00開場)

会 場：神戸芸術センター会議室 505号室

講 師：光川大造(鋸鍛冶・カネジュン)

参加者：32名

f) 企画展「フィリップ・ワイズベッカーが見た日本 大工道具・たてもの・日常品」東京展

日常の風景の中にある何気ないものを、独特な感性で描くフィリップ・ワイズベッカー氏。今回は彼が日本滞在中にみつけた道端の柵をはじめ、トラック、建物、畳敷きの和室、ゴミ箱、日常の道具から大工道具に至るまで、さまざまなモチーフの作品を展示した。また、制作ノートや道具、パリにあるアトリエを氏自ら案内する映像も紹介した。

会 場：ギャラリーエークウッド  
会 期：2020年10月2日～11月20日

(関連イベント)

トークショー「フィリップ・ワイズベッカーの作品世界」

動画配信日：10月16日(金)より4回に分けて順次配信

(収録日時：9月22日(火) 17:00～19:00)

登壇者：フィリップ・ワイズベッカー(アーティスト)

大熊健郎(クラスカギャラリー&ショップ“DO”ディレクター)

西村 章(竹中大工道具館 館長)

会 場：ギャラリーエークウッド展示室内

※新型コロナウイルス感染症対策により、フランスと日本をウェブで繋ぎ、動画配信(無料)とした。

g) 企画展「座る・くらべる一脚展 + 2020「10回目の一脚展～木が椅子になる～」

兵庫県で活動する家具作家が毎年新作を「一脚」ずつ発表する椅子展を開催した。

会 場：当館多目的ホール  
会 期：9月8日～9月22日  
入場者：1,660人

(関連イベント)

ワークショップ「ドローナイフで樹を削る」

日 時：9月12日(土) ①9:40～10:40、②10:50～11:50、③13:40～14:40

会 場：当館木工室

講 師：迎山直樹(木工作家、Tenon 代表)

参加者：合計8名

- h) 企画展共通備品の整備  
企画展開催に必要な備品（映像関連のモニター、プロジェクター、4K・FullHD 対応メディアプレイヤー、HDMI ケーブル、USB・SD カード、サインスタンド等）を購入した。
- ③ 企画展の中期的準備
  - a) 企画展「唐招提寺金堂建築展（仮）」  
東京会場（2021年8月中旬～10月上旬）、神戸会場（10月中旬～12月中旬）開催に向けて準備・調整を進めている。唐招提寺金堂の1200年の歴史と建築技術を紹介するため、古材、建築模型、彩色関連資料などの展示を予定している。
  - b) 海外特別展（ヨーロッパ）  
2022年6～10月にポーランド共和国クラクフ市マンガミュージアムで展覧会を開催すべく準備・調整を進めている。
  - c) 海外特別展（アメリカ）  
2021年3月～6月ニューヨークにて、ジャパン・ソサエティー ニューヨーク本部の建築竣工50周年を記念して開催準備が進められている「日本の大工道具展」に全面的に協力し、12月には現地に向け展示品等を発送した。

### （3）大工道具及び建築関連資料等に関する調査研究及び研究誌の発行

- ① 海外の建築技術と道具
  - a) 東アジア（中国、韓国）  
日本と深い関わりをもつ中国・韓国の木造建築と道具に関する調査研究を実施している。本年度は新型コロナウイルス感染症対策の影響により、韓国の現役大工および鍛冶に関する現地での基礎調査はできず、文献資料の研究のみとなった。
  - b) ヨーロッパ  
ヨーロッパの大工道具と建築技術に関する継続的研究を引き続き行う。本年度は特にフランスの規矩術に関する調査を行った。
- ② 日本の建築技術と道具
  - a) 大工技術書  
5月に木割書「鎌倉造営名目」に関する論文を『中国建築史論叢刊』（中国清華大学建築学院発行）に投稿し、10月には同内容を「第3回木造建築文化遺産の保護及び利用に関するシンポジウム」（中国寧波市・保国寺古建築博物館）にてビデオ講演した。あわせて館所蔵の大工技術書「黒田宗信伝来文書」の読解研究を進め、「上棟之巻」に関する読解内容を研究紀要32号に掲載すべく原稿を作成中。また9世竹中藤右衛門の活動に関する調査報告を松本始氏と共同で執筆中（研究紀要32号掲載予定）。
  - b) 建築部材の加工技術（部材刃痕）  
中世の部材加工技術の実態を明らかにすべく、建築部材の加工痕（刃痕）調査を継続中。本年は昨年につき、日本の現存最古の民家である箱木家ならびに古井家の調査を実施し、報告書原稿を執筆（神戸市・姫路市より委託調査。次年度報告書刊行予定）。また南僧尾観音堂（兵庫県、室町後期）、竜禅寺三仏堂古材（室町後期、当館蔵）の調査を実施。
  - c) 職人への聞き取り調査  
本年度は数寄屋大工について技法の聞き取り調査を予定していたが、新型コロナウイルス感染症対策に伴い、実施を来年度に延期した。

d) 近世民家の住まい方

近世の民家における住まい方の歴史あるいは構法・加工技術の歴史について調査研究を進めた。今年度は4月に「江戸時代における民家史研究」と題した論文を『建築史学』74号に掲載し、8月発行の日本建築学会学術講演梗概集に「近世民家の照明について」と題した梗概を掲載した。なお今年の日本建築学会大会は中止となった。

③ 博物館学：教育普及活動

博物館における学校との連携事業を対象に実践的研究を進める。本年度は担当学芸員産休のため休止。

④ 出版活動（研究成果の公開）

a) 研究紀要 No. 31 の発行および No. 32 の準備

調査研究成果の公開を目的として、研究紀要 No. 31 を下記内容にて3月20日に発行し、当館関係者、大学、専門研究者等に配布した（800部作成）。現在 No. 32 発行に向けて原稿執筆を進めている。

| 著者        | 題名                                       |
|-----------|--|
| 星野欣也・坂本忠規 | 手中明王太郎関係資料（大工道具）調査報告～鉋・小鉋各種・墨掛道具・予備刃物類編～ |
| 橋爪一治      | 木材切断技能における切り始めの視線に着目した巧緻性の解明             |
| 安田徹也      | 海軍技師・建築家の吉野直吉について                        |

⑤ 調査研究一般

a) 「技と心」研究会開催（旧村松記念研究会）

館外学識者ならびに館職員を対象に、木造建築ならびに道具に関する専門家を招聘して、研究会を7月に予定していたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止とした。なお来年度以降の開催についても、当面休止とすることにした。

b) 情報収集活動ならびに研究者ネットワークの形成

道具と建築に関する情報収集を適宜実施した。

#### （4）教育、学術及び文化に関する普及及び支援活動

① 諸施設への協力

a) 諸施設への協力

下記のとおり実施した。

ア) 実物資料貸出（3件）

| 貸出先            | 使用目的               | 貸出期間                   | 資料名         |
|----------------|--------------------|------------------------|-------------|
| 大阪市立住まいのミュージアム | 特別展「中井大和守の建築絵図細見」他 | 2019年12月12日～2021年（継続中） | 茶室蓑庵実物大模型1点 |
| 大阪市立住まいのミュージアム | 特別展「中井大和守の建築絵図細見」  | 2019年12月12日～2020年4月30日 | 中井家関連鑑札3点   |
| 文化庁国立近現代建築資料館  | 「日本のたてもの」展         | 12月10日～2021年3月19日      | 大工道具一式（26点） |

イ) 画像・映像貸出 (13 件)

| 貸出先  | 使用目的/掲載紙  | 掲載期間                       | 資料名  |
|--|---|----------------------------|--|
| 株式会社 Air Medi                                    | NHKE テレ「デザインミュージアムをデザインする」  | 放送日:3 月 29 日               | 資料 4 点:映像『道具の歴史_やりがんな』、画像「ヤリガンナで削る」「小刀で曲面をつくりだす」「鑿でホゾ穴を刻む」 |
| 小野市立好古館  | 国史跡指定 40 周年・歴史公園開園 20 周年記念 「広渡鹿寺展-発掘調査で何が分かるか-」展                    | 4 月 25 日~9 月 13 日          | 復元古代瓦の制作工程映像 4 点:「丸瓦」、「平瓦」、「軒丸瓦」、「軒平瓦」                     |
| 株式会社オクタゴン  | フジテレビ「潜在能力テスト」  | 放送日:4 月 28 日               | 映像『墨壺と墨付け』   |
| 一般社団法人 Deep Japan Lab                            | 『キノマチをつくろう 木のまちづくりハンドブック』   | 5 月中旬発行                    | 鉋使用画像 1 点  |
| 大阪電気通信大学   | 工学部建築学科の授業にて大工道具を通じて日本の建築の歴史を学習する資料として活用するため                        | 6 月使用                      | 『大工道具と日本建築の歴史』をはじめ映像 8 点                                   |
| 竹中工務店広報部   | 竹中工務店 PR 動画 スミツボじいさんのわくわく! 竹中工務店! ~竹中大工道具館の巻~                       | 7 月 6 日公開                  | 資料 13 点:竹中大工道具館ウェブサイト掲載画像 11 点、竹中大工道具館公式 PV                |
| 有限会社三猿舎  | 講談社『日本の歴史』第 9 巻「応仁の乱」(書籍・電子書籍)                                      | 7 月発売                      | 画像 3 点:直刃の鉋、木の葉型鋸(復元) 2 点                                  |
| 東北歴史博物館  | 東北歴史博物館 2020 年度秋季特別展「伝わるかたち/伝わるわざ-伝達と変容の日本建築」図録                     | 9 月 26 日発行                 | 数寄屋大工展図録 P5 掲載画像「量雛形」                                      |
| 株式会社朝日新聞メディアプロダクション                              | 朝日新聞夕刊「わたしのイチオシコレクション」  | 9 月 29 日発行                 | 画像 2 点:「江戸熊の鑿」、玄翁「山彦」                                      |
| DIY アドバイザー関西                                     | 創立記念事業でのトークショー時に放映するため  | 10 月 24 日開催                | 映像『木組みの家』  |
| 学校法人 中央工学校 中央工学校 OSAKA                           | 学校内の授業にて活用するため  | 11 月 17 日の授業               | 資料 2 点:映像『棟梁 堂宮大工の世界』、『聴竹居』                                |
| 一般財団法人放送大学教育振興会                                  | 2021 年度開講科目「日本史史料を読む」印刷教材   | 刊行予定日:2021 年 3 月 20 日      | 墨壺側面画像 1 点   |
| みよし市立歴史民俗資料館                                     | 市制施行 10 周年記念 夏季特別展「下り松瓦窯と西三河の古代瓦」展示パネル及び図録                          | 会期:2021 年 8 月 8 日~9 月 27 日 | 資料 50 点:竹中大工道具館企画展 展覧会図録『千年の甍 古代瓦を暮く』P20~25 に掲載されている画像     |
| Art History Department, The University of Kansas | Craft Culture in Early Modern Japan: Materials, Makers, and Mastery | 発行日:2021 年 9 月             | 円覚寺舍利殿組物原寸模型の画像 1 点  |



ウ) 講師派遣 (4件)

| 派遣先            | 講演名称          | 開催日    | 講師          |
|----------------|---------------|--------|-------------|
| 大阪中央ロータリークラブ   | 未来へ伝えたい匠の技と心  | 1月16日  | 西村 章        |
| 枚方地域産業クラスター研究会 | 未来へ伝えたい匠の技と心  | 1月28日  | 西村 章        |
| 大工ネットワーク北海道    | 技を伝え人を育てる     | 10月18日 | 小川 三夫、赤尾 建藏 |
| DIYアドバイザー関西    | 大工が教える本当の家づくり | 10月24日 | 阿保昭則、赤尾建藏   |

エ) 博物館実習受入 (8校)

| 依頼先   | 期間        | 人数 | 内容          |
|---|-----------|----|-------------|
| 神戸大学、関西学院大学、京都芸術大学、神戸女子大学、甲南大学、甲南女子大学、神戸芸術工科大学、神戸松蔭女子学院大学 | 8/26~9/19 | 8名 | 博物館実習 (5日間) |

- b) 神戸市立博物館特別展「建築と社会の年代記」への協力  
 建築文化の保存と継承を目的に、当該展覧会開催(2020年1月11日~3月1日)に協力するため負担金を支出し、あわせて依頼のあった資料を貸し出した。同展覧会終了後には、実行委員会より当館に正福寺本堂組物実物大模型の寄贈があり、その保管方法について検討した。

② 講演会とセミナーの開催

a) 「技と心」講演会

館外の学識者や著名人物を講師として迎え、一般向けに大工道具や建築技術に関する講演会を実施している(11月開催予定)。本年度は「宮野鉄之助」展と連動した講師を招聘する予定だったが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止とした。

b) 「技と心」セミナー

館職員および館外学識者を講師に、大工道具や建築技術に関するセミナーを開催した。(3月以降新型コロナウイルス感染症拡大防止のため回数および定員を低減した。)

| 回次   | 会場          | 期日    | 内容                            | 講師               |
|------|-------------|-------|-------------------------------|------------------|
| 第97回 | 神戸芸術センター会議室 | 2/24  | 「大工の暮らしと仕事」(72名参加)            | 谷直樹(大阪くらしの今昔館館長) |
| 第98回 | 当館1F多目的ホール  | 9/27  | 「大工が語る京都の天然砥石」(35名参加)         | 北村智則(当館技能員)      |
| 第99回 | 神戸芸術センター会議室 | 11/22 | 「三木の鋸鍛冶が語る鋸の歴史から使い方まで」(32名参加) | 光川大造(鋸鍛冶・カネジュン)  |

c) サマーイベント、ウィンターイベント

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため集客型イベントではなく、期間限定で3種類の木工キットの数量限定WEB販売を行った。その中でも大工道具を使用するキットには、製作動画を撮影し、YouTubeに公開した。冬季も同様に集客イベントは行わず、幼児向け木工キットのWEB販売を行った。また、学芸員による常設展案内映像を公開予定である。

③ 教育普及プログラムの実施

a) 館内プログラム

来館者に道具の使用を通して館の理解を深めてもらうため、「ちょこっと木工」(ワークショップ、水曜、土日祝日)、大工による鉋削り体験(月1回)、大工道具にチャレンジ(月1回)、春休み・夏休み子ども体験教室、木工作家によるワークショップなどを定期的実施

している。但し、新型コロナウイルス感染症対策のため3月以降のイベントを休止しており、9月から職員および関係者で対応可能なイベントのみ規模を縮小して開催した。ボランティアへの協力の依頼は3月1日から12月末まで休止とした。

#### ア) 木工イベント

| プログラム名                       | 実施日/実施日数                 | 講師                | 参加人数 |
|------------------------------|--------------------------|-------------------|------|
| 大工道具にチャレンジ!                  | 0日(新型コロナウイルス感染症対策他のため中止) | 北村 智則、ボランティア、     | 0名   |
| 大工と一緒に鉋削りに挑戦!                | 合計1日                     | 北村 智則、ボランティア、委託大工 | 38名  |
| ちょこっと木工                      | 合計23日                    | 北村 智則、ボランティア、委託大工 | 639名 |
| 刃物研ぎ教室                       | 合計4日                     | 北村 智則             | 26名  |
| 包丁研ぎ教室                       | 合計4日                     | 北村 智則             | 26名  |
| ワークショップ「我谷盆をつくろう」            | 2/20, 21, 22             | 森口信一              | 36名  |
| ワークショップ「かんなのリースをつくろう!」       | 9/18, 19                 | 黒岩絵里子             | 15名  |
| ワークショップ「鉋で作るウインザーチェア」        | 10/7/8/9(全3回)            | 後藤 雅宏             | 8名   |
| 大人のための木工教室入門編                | 10/21, 22, 23(全3回)       | 北村 智則             | 5名   |
| ポートピアホテル夏休み子ども教室             | 8/7                      | 北村 智則             | 親子5組 |
| ワークショップ「グリーンウッドワークでスプーンを作ろう」 | 11/4, 5                  | 福畑 慎吾             | 16名  |
| ワークショップ「クリスマスツリーを作ろう!」       | 12/5, 6                  | 山極 博史             | 16組  |

#### イ) 学校向けプログラム

新型コロナウイルス感染症対策のため休止とした。

#### b) 木工室の管理・運営

適宜、管理運営業務を実施し、消耗品の補充等を行った。

#### c) アウトリーチ活動

通常であれば小学校をはじめとする教育機関での出張授業や教員研修、他機関での体験教室などのアウトリーチ活動を実施するが、本年度は新型コロナウイルス感染症対策のため1,2月のみの実施となった。

#### ア) 出張授業(2件)

| 学校名         | 学年 | 内容                    | 実施日  | 講師          |
|-------------|----|-----------------------|------|-------------|
| 神戸市立玉津第一小学校 | 5  | 「千年の釘にいどむ」/大工道具の実演・体験 | 1/23 | 北村・森・ボランティア |
| 神戸市立東舞子小学校  | 5  | 「千年の釘にいどむ」/大工道具の実演・体験 | 2/6  | 北村・能見・森     |

#### イ) 館外イベント(0件)

新型コロナウイルス感染症対策のため、本年度は実施しなかった。

④ ボランティア活動の管理・運営

本年度は新型コロナウイルス感染症対策のため3月1日から12月末日まで解説、ワークショップ、手入れの各活動を休止した（勉強会と事務局運営のみ実施）。休止中は活動に関する川柳を募集し、「道具館ボランティア川柳 今日的一句」としてツイッターで発信した。

| 内容            | 実施日               | 講師                    |
|---------------|-------------------|-----------------------|
| 企画展勉強会        | 1/11              | 企画展担当者（10/15 はメールで発信） |
| ボランティア英語解説勉強会 | 1, 2, 9, 10, 月各1回 | 解説ボランティア有志（TCTG）      |

⑤ 自宅でも竹中大工道具館を楽しむ

a) SNS のハッシュタグ

<#エア博物館 #自宅でミュージアム>で博物館の取り組みに横串を刺したい」という博物館関係者の呼びかけに賛同し、臨時休館時の SNS 投稿の際にはこの2つのハッシュタグを付けて間を空けないよう心掛けて投稿した。

b) 期間限定おうちでミュージアム

コロナ禍における博物館の活動内容を模索するために<おうちでミュージアム>を開催。臨時休館中に常設展案内映像を職員で撮影したり、企画展にご来館いただけない方々にも各企画展を楽しんでいただくべく会場映像をはじめ、バーチャルミュージアムや、通常は企画展会場のみで上映する長編映像等も YouTube（チャンネル登録者数 1,507 人）に公開している。（視聴回数：12/31 調べ）また常設展や企画展の映像以外にも、学校向け貸出教材や大工道具の紹介ページ、大工道具が描いてあるぬり絵等も追加し、夏休み限定木工キット販売では、大工道具を使用している難しめのキットの作り方を撮影し、公開した。

| プログラム        | 内容                        | 公開日／視聴回数          |                |
|--------------|---------------------------|-------------------|----------------|
| 常設展案内        | 案内映像を撮影し、YouTube に 2 本公開。 | 歴史の旅へコーナー         | 4月27日／2,852回   |
|              |                           | 棟梁に学ぶコーナー         | 5月14日／2,203回   |
| 企画展をおうちで楽しもう | アアルト展                     | 会場映像（日本語字幕）       | 4月15日／5,396回   |
|              |                           | 会場映像（英語字幕）        | 4月22日／435回     |
|              |                           | バーチャルミュージアム       | 5月14日公開        |
|              |                           | 展示内容（グラフィック）      | 4月17日から数回に分けて  |
|              | 木組展                       | 組子細工のコーナー映像       | 5月18日／6,419回   |
|              |                           | 堂宮のコーナー映像         | 5月21日／2,898回   |
|              |                           | 長編『組子細工の技を継ぐ』     | 6月4日／14,726回   |
|              |                           | 長編『木組みの家』         | 6月14日／15,353回  |
|              |                           | 『木組みの家』音楽映像①      | 6月19日共有        |
|              |                           | 『木組みの家』音楽映像②      | 6月24日共有        |
|              | ワイズベッカー展                  | アトリエ映像            | 10月2日／3,690回   |
|              |                           | 会場映像（東京）          | 10月6日共有        |
|              | 宮野鉄之助展                    | 長編映像              | 10月16日／3,039回  |
|              | おうちで学ぼう                   | 学校向け貸出教材          | 映像『大工さんってスゴイ！』 |
| ぬり絵          | 6種類                       | ぬり絵用 PDF          | 5月上旬に数回に分けて    |
| 大工道具の紹介      | 旧館時に公開していたウェブページ          | 現 HP への再公開        | 4月28日作業完了      |
| 夏休み限定木工キット販売 | 販売したキットの製作工程              | 映像『リユールシロフォンの作り方』 | 8月13日／1,318回   |

## (5) 竹中大工道具館の管理・運営（管理業務）

### ① 管理・運営一般

#### a) 財務会計処理業務一般

本館活動のための資金運用を含めた財務会計処理業務を適正且つ着実に実施した。

#### b) 入館受付、団体受付、展示説明他

新型コロナウイルス感染症拡大を鑑み、3月7日から5月27日まで臨時休館とした。博物館のガイドラインに従ってコロナ対策を行い再開後ひと月ほど日時指定の予約来館（web予約）を実施、開館時間を午前と午後の2部制に変更・閉館時間も16時に繰り上げた。予約制終了後も開館時間変更は継続中。

団体予約については4月9日以降受付を休止中。

### ② 広報活動

#### a) 広報一般

新型コロナウイルス感染症の影響によるイベントの延期や中止、また臨時休館や再開等、適宜各広報先へ最新情報を周知、情報訂正の依頼を行った。また、イベント申込者への連絡についても、同様にその都度適宜対応した。

取材依頼については適宜コロナの状況を判断して可能な範囲で受け入れ、視察については人数等条件を設定し、その範囲内での受け入れを7月より再開した。

#### b) 広報印刷物の発行と送付

当館の最新情報および企画展案内を掲載した広報誌「竹中大工道具館 NEWS」（年2回発行、作成部数7月：6,500部、12月：5,000部）を発行、関連施設や来館者などに配布並びに発送した。「イベントチラシ」（例年、年2回発行）についてはコロナ禍によりイベントスケジュールが立たず、中止や延期となる可能性が高いことから発行はせず、適宜HPやメールマガジン、SNSでの発信のみとした。

#### c) ウェブサイト・メールマガジンの維持・管理

広報活動の一環として、一般向けにITを利用した、ウェブサイトの定期的更新および企画用特設サイトの構築、メールマガジンの定期発行（隔月年4回、広報誌NEWSベースに再編集）を実施した。またSNSでの広報の幅を広げるため6月2日からInstagramを開始した。

#### d) GoTo トラベル事業への参画

紙・電子クーポン共に、入館料支払い・ショップでのグッズ購入に利用可とした。

### ③ ミュージアムショップの運営

来場者サービスの一環として「木」「道具」をコンセプトにミュージアムショップを運営している。

#### a) 新商品の販売（組手コースターキット）

木工室閉鎖のため木工体験ができない代わりとして、7月より自宅で楽しめる木工キットの販売を始めた。

#### b) クレジットカード決済の導入

社会のキャッシュレス化、外国人来館者の増加に対応するため、4月よりミュージアムショップ内でのクレジット決済を開始した。（5月27日まで臨時休館していたため、実際に稼働したのは5月28日から）

#### c) 刊行物通信販売のウェブサイトの充実と購入手続きの利便化

コロナ禍により通信販売の需要が高まると見込み、6月より通信販売のウェブサイトのリニューアルを行った。STORES（無料でネットショップが開業できるCtoC用のECシステム）のサービスを利用し、クレジット決済、コンビニ決済等に対応し、これまで銀行振込のみの対

応だった購入手続きを改善し、お客様が簡単に利用できるようにした。6～9月の販売件数は昨年比の3倍となった。(6～9月販売件数 2019年21件、2020年67件)

④ 茶室の維持・管理

敷地内の茶室を適切に維持管理した。コロナ禍により春の特別公開と呈茶は開催せず、秋のみwebによる事前予約制・各回定員6名で特別公開を実施。

⑤ 休憩室の維持・管理

休憩室を適切に維持管理し、来館者への憩いの場として提供した。コロナウイルス感染症対策の一環として再開館後、ひと月ほど閉鎖したが、それ以降は席数を半分に減らし、適宜消毒と清掃の強化を行うことで再開館とした。

⑥ 館の情報インフラの強化・管理

運営に必要な作業環境および情報インフラの更なる充実とセキュリティ強化を図るとともに、特に情報発信の手段としてメインとなるホームページの充実とユーザーの利便性を向上に努めた。コロナ禍において開館するため、来館者への入場制限、入場時のルール等の配信、インターネットを通じた入館予約、通信販売を実施した。

⑦ 理事会・評議員会、役員見学会の開催

2～3月に決算の定時理事会及び定時評議員会を開催した。収蔵庫別館建替工事の木を活用した仕様への変更議案の臨時理事会、評議員会、また、次年度の事業計画・予算の定時理事はコロナウイルス感染防拡大防止の観点から、書面による決議に変更した。また、役員見学会は中止とした。

⑧ 財団法人事業報告会への参画

(公財)竹中育英会、(公財)ギャラリーエークウッドと共に出席し、運営上の情報交換さらには企画展の共同開催について相互に情報交換を行っているが、本年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。

⑨ 運営管理の改善と効率化

館の運営に係る管理費(固定経費)をより精度よく把握するとともに、事業費(変動費)の予算管理の充実を図ると共に効率よい運営を推進に努めた。